平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 横浜丸魚株式会社　　上場取引所　東
コード番号 8045　URL http://www.yokohama-maruuo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩瀬　一雄
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員　(氏名) 小島　雅裕　TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	44,366	△1.2	19	△30.0	256	14.7	298	63.1
25年3月期第3四半期	44,908	△5.0	27	―	223	―	183	―

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　588百万円　(463.9%)　25年3月期第3四半期　104百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	44.21	―
25年3月期第3四半期	27.76	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	21,375	11,777	55.1
25年3月期	17,981	11,340	61.5

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　11,772百万円　25年3月期　11,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	―	―	10.00	10.00
26年3月期	―	―	―		
26年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	△1.2	45	△26.8	290	△0.6	300	23.2	44.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	7,261,706 株	25年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	184,125 株	25年3月期	660,666 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	6,760,101 株	25年3月期3Q	6,603,576 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（１）経営成績に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（２）財政状態に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（１）四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（継続企業の前提に関する注記） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（セグメント情報等） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策推進を背景に円安や株高が進行し、輸出や設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復傾向にありました。一方、個人消費は底堅く推移しているものの、消費税引き上げや物価上昇などの懸念材料もあり、引き続き予断を許さない状況が続いております。

当社グループの中核事業である水産物卸売事業におきましても、円安による原料価格の上昇を即時に販売価格へ転嫁できないことや消費者の低価格・節約志向の影響などから、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、平成23年度から平成25年度まで３ヵ年の中期経営計画「MMプラン２nd Stage」の最終年度となります三年目にあたり、企業理念であります安心・安全で良質な商品と心に感じるサービスにより、お客様満足を追求するとともに、豊かな食生活に貢献すべく、また、営業収益の継続的黒字化を実現すべく、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は 44,366 百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ 542 百万円（△1.2%）の減収となり、営業利益は19百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ８百万円（△30.0%）の減益となりましたが、経常利益は保有株式の配当金の増配等により 256 百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ 32 百万円（14.7%）の増益となり、さらに、四半期純利益は投資有価証券売却益及び負ののれん発生益を特別利益に計上したことにより 298 百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ115百万円（63.1%）の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（水産物卸売事業）

売上高は36,337百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ821百万円（△2.2%）の減収となり、営業利益は20百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ５百万円（△21.8%）の減益となりました。

（水産物販売事業）

売上高は7,817百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ270百万円(3.6%)の増収となりましたが、新しい取り組みによる経費増加により、営業損失は32百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ12百万円（前年同期　営業損失20百万円）の増加となりました。

（不動産等賃貸事業）

売上高は19百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ２百万円(16.9%)の増収となり、営業利益は18百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ５百万円（42.6%）の増益となりました。

（運送事業）

売上高は190百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ６百万円(3.5%)の増収となり、営業利益は16百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ４百万円（33.5%）の増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、21,375 百万円と前連結会計年度末に比べ3,394 百万円増加しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加2,698百万円及び商品及び製品の増加669百万円によるものであります。

負債は、9,597百万円と前連結会計年度末に比べ2,957百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加2,941百万円によるものであります。

純資産は、11,777 百万円と前連結会計年度末に比べ 436 百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加 187 百万円及び株式交換の割当交付による自己株式の減少266百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成 25 年 11 月１日に公表いたしました数値から変更はございません。なお、今回発表の１株当たり予想当期純利益の計算は、当第３四半期連結会計期間末の期中平均株式数によっております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,025	2,763
受取手形及び売掛金	4,027	6,725
有価証券	―	11
商品及び製品	894	1,564
その他	45	62
貸倒引当金	△512	△520
流動資産合計	7,480	10,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,054	1,003
土地	771	771
リース資産（純額）	53	54
その他（純額）	68	67
有形固定資産合計	1,948	1,896
無形固定資産		
ソフトウエア	172	131
その他	10	10
無形固定資産合計	183	142
投資その他の資産		
投資有価証券	8,265	8,639
長期貸付金	26	12
破産更生債権等	453	554
その他	61	60
貸倒引当金	△438	△537
投資その他の資産合計	8,369	8,730
固定資産合計	10,500	10,769
資産合計	17,981	21,375

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,970	5,912
未払法人税等	11	22
引当金	63	15
その他	442	409
流動負債合計	3,487	6,358
固定負債		
退職給付引当金	781	682
役員退職慰労引当金	117	140
資産除去債務	29	30
繰延税金負債	1,939	2,100
その他	285	285
固定負債合計	3,152	3,239
負債合計	6,640	9,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	376
利益剰余金	6,044	6,232
自己株式	△368	△102
株主資本合計	7,620	8,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,432	3,724
その他の包括利益累計額合計	3,432	3,724
少数株主持分	287	4
純資産合計	11,340	11,777
負債純資産合計	17,981	21,375

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	44,908	44,366
売上原価	41,979	41,437
売上総利益	2,928	2,928
販売費及び一般管理費	2,901	2,908
営業利益	27	19
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	150	171
その他	40	58
営業外収益合計	197	238
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	2	2
経常利益	223	256
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	―	12
負ののれん発生益	8	68
特別利益合計	10	80
特別損失		
その他	0	―
特別損失合計	0	―
税金等調整前四半期純利益	233	336
法人税、住民税及び事業税	33	38
法人税等調整額	10	△1
法人税等合計	44	37
少数株主損益調整前四半期純利益	188	299
少数株主利益	5	0
四半期純利益	183	298

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	188	299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84	288
その他の包括利益合計	△84	288
四半期包括利益	104	588
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	98	590
少数株主に係る四半期包括利益	6	△2

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年10月1日の株式交換による川崎丸魚株式会社の完全子会社化に伴う自己株式の交付により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式処分差益を25百万円取崩し、自己株式処分差損が44百万円発生するとともに、自己株式が267百万円減少しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が376百万円、利益剰余金が6,232百万円、自己株式が102百万円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

Ⅰ　前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日　至平成24年12月31日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	水産物卸売事業	水産物販売事業	不動産等賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	37,159	7,547	16	184	44,908	－	44,908
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,552	137	45	167	2,903	△2,903	－
計	39,711	7,684	62	351	47,811	△2,903	44,908
セグメント利益又は損失（△）	25	△20	12	12	30	△3	27

(注)　1．セグメント利益の調整額△3百万円は、棚卸資産の未実現利益△3百万円であります。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日　至平成25年12月31日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	水産物卸売事業	水産物販売事業	不動産等賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	36,337	7,817	19	190	44,366	－	44,366
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,753	151	45	94	3,046	△3,046	－
計	39,091	7,969	65	285	47,412	△3,046	44,366
セグメント利益又は損失（△）	20	△32	18	16	22	△2	19

(注)　1．セグメント利益の調整額△2百万円は、棚卸資産の未実現利益△2百万円であります。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「水産物卸売事業」セグメントにおいて、川崎丸魚株式会社の株式20,000株を追加取得したことに伴い、負ののれん発生益1百万円を計上しております。

また、1,745,470株を株式交換により追加取得し、完全子会社としたことに伴い、負ののれん発生益66百万円を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては67百万円であります。

「水産物販売事業」セグメントにおいて、館山丸魚株式会社の株式1,300株を追加取得しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては0百万円であります。